試験勉強のスケジュール

チューター：清水　優作

はじめに

私は、決して頭のいい人間ではありません。効率のいい器用な人間でもありません。しかし、努力と精神力のみでなんとか合格することができました。こんな私ですが、受験勉強の間にいろいろな方法を模索しました。私の勉強法・スケジュールを紹介しますが、至らない点は多くあると思います。少しでも、皆様方のお力になれれば幸いと思います。

勉強のスタイル（試験日まで徹底したこと）

- ライブの授業にできる限り参加し，帰りの電車の中で復習というスタイル
- 自分にある程度の負荷をかける
- 友達の学習進度・レベルを意識する
- 模試や試験日を意識し，長期的な目標と短期的な目標を立てる

大学３年４月～８月

- 基本的には、「憲法・民法・行政法・経済・数的（資料以外)」の学習をした。
- 憲・民・経済→ライブで授業を受けた範囲の『合格するなら絶対ゲット』を繰り返し解いた。
- 行政法→ライブで授業を受けた範囲の復習は教科書及びプリントで復習するのに留まった。
- 数的（資料以外）→大学２年の時に学内講座で少し学習していたので、『できれば得点したい』も合わせて解いた。

大学３年９月～１２月

- 憲法・民法・行政法・経済・数的（資料以外）の『合格するなら絶対ゲット』はほとんど解けるようになった。
- 「政治学・行政学」の勉強を始めたが、人物・キーワード等が結びつけられず、問題をなかなか解くことができなかった。
- 憲法と経済は得意科目だったので、『できれば得点したい』まである程度解けるようになるまで繰り返し解いた。
- ただ、経済に関しては、自分の苦手分野である労働市場や新古典派などは手を付けなかった。（あとでじっくり考えることにした。）

大学３年１月

- 大学の後期試験があり、並行して勉強しなければなかった。
- 基本的には、年末までにやれなかった箇所をやることにし、行政学と政治学を主に学習した。
- しかし、この時期あまりにも法律科目をおろそかにしたため、内容が頭からかなり抜けてしまった。

大学３年２月～３月

【専門】

- 民法はこの時期に、Ｉ（総則・物権）のみに絞ることにした。
- 行政法はマスター内容まで完璧にした。（問題数が少ないので。）
- 経済は、苦手分野を中心にフォーカスを解いた。
- 政治学と行政学はなかなか暗記することができなかったので、単語カードを作り、毎日電車の中などでチェックするようにした。それと並行して、スタンダード問題も解くようにした。（結局、本番までにマスター問題を解くことはできなかった。３月くらいからスー過去を使用し、知識の幅を広げる努力をした。）
- 憲法は得意なので週に２日程度に留めた。
- 「経営学」は、スタンダード問題をひたすら解いた。
- 「国際関係」「財政学」は、スー過去を使用して簡単な問題（頻出度の高い問題）から解いた。

【教養】

- 人文科学

「日　本　史」…大学受験の時、日本史を受験したのでフォーカスの内容を確認する程度。
「世　界　史」…苦手なので、捨てることにした。（本番前には、中国史だけは学習した。）
「地　　理」…土壌・気候区分などをセットにし、単語カードで確認することにした。
「思想・哲学」…出題数は少ないが、簡単な問題が多いので、フォーカスを中心に覚え、暗記しにくい部分はまた単語カードを使って覚えた。

- 自然科学

自分は文系なので、当初やるつもりはなかったが、やってみると「地学」「生物」「化学」に関しては解けそうだったので、これも覚えるべきことは教科書やノートを読んでフォーカスを解き、間違えやすい点又は重要な点は単語カードを使って確認した。

- 知能系科目

資料解釈と文章理解が苦手で、点数も安定していなかったので不安になり、勉強を始めた。一日に何時間もかけるのは、効率が悪いと考えたので、「英語」・「現代文」・「資料解釈」を午前中に１～２時間毎日解くようにした。

大学４年４月

- この時期は、できる限りたくさんの教科を一日で回すように努めた。（いろんな種類の勉強をしようとした。）
- 全教科の総復習をすることが目標だったので、模試や当練の解き直しをした。
- 「小論文対策」・「社会科学対策」のために速攻の時事を使って学習を始めた。
- また、比較的簡単に点が取れる「社会学」はこの時期から本格的に解き始めた。これにも覚えにくい人物や用語が出てきたので単語カードを使用した。

大学４年５月

- 本番の試験は、日曜日にあるので、その試験に出題される科目を月～土の間に重点的に学習した。

まとめ

- 「スタンダード問題」や「合格するなら絶対ゲット問題」をいかにやり込むかが勝負の鍵
- 自分の得意科目や主要科目に関しては「フィニッシュ問題」「できれば得点したい」も得点できるようにする
- できる限り期間を空けずに復習したいところ
- 得点すればこっちのもの（覚え方は何でも良い。本番で得点できればOK）

最後に

私は、本当に必死で勉強しました。自習室にこもりっきりで、日本語が喋れなくなるんじゃないかと不安に思うときもありました。イスに長時間座りすぎてお尻が低温やけどになったこともありました。そんな時に支えてくれたのが、先生方であり、友達、家族でした。この支えてくれる人たちのためにも絶対に合格しなければいけないと思っていました。
公務員になりたいという理由は人それぞれだと思います。理由はどんなであれ、皆さんが合格することが私の願いです。ぜひ合格を掴み取って下さい。